

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	060101010100		事業の種類	4		
年度	26	事務事業名	ふるさと応援事業		予算事業名	ふるさと応援事業	優先度	4
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために			担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		市民力あふれるまちをめざす			担当課長	松尾 次郎	担当者名	横川 昌紀
取組み事項		市民参加型のまちづくりシステムを構築する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	有
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市ふるさと応援基金条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	相生のまちづくりに参加しようとする者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	個性豊かで活力とぬくもりのあるまちづくりを推進するため、市に対する寄付金を広く募り、事業の財源にし、その思いを具現化する。						
	事業の全体年度	事業着手年度			(年度)	事業完了予定年度		

2 事業の概要 Do

実施の概要		5つのテーマにふるさと応援寄附金を受付し、その寄附金を財源に事業を実施する。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	寄附件数	件	39	53	48	50
	寄附金額	円	2,606,000	3,744,413	4,643,304	5,000,000
	本制度による実施事業	件	4	3	3	4

3 投入資源

		会計区分	一般会計					事業費単位:円	
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.084	0.084	100	0.088	105	0.148	168	
	臨時職員	0.060	0.060	100	0.060	100	0.060	100	
支出内訳	人件費	1,099,932	1,109,498	101	1,186,157	107	1,614,198	136	
	事業費	5,491,144	4,501,906	82	5,216,706	116	200,000	4	
	合計	6,591,076	5,611,404	85	6,402,863	114	1,814,198	28	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,591,076	5,611,404	85	6,402,863	114	1,814,198	28	
合計	6,591,076	5,611,404	85	6,402,863	114	1,814,198	28		

※ 事業の進捗状況

		事業費単位:円				
	項目	24年度	25年度	26年度	27年度	/
全体進捗率	事業費累計					
	進捗率					

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ふるさと応援事業の実施							
指標説明(式)		ふるさと応援寄附金を財源とした各テーマでの実施事業。							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	7	3	42.9	3	100.0	4	133.3	
	実績	4	3	75.0	3	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		特産品発送件数							
指標説明(式)		特産品PRの手段として、ふるさと応援寄附の高額寄附者に特産品を贈る。							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	20	30	150.0	30	100.0	30	100.0	
	実績	24	31	129.2	29	93.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	間接的ではあるが、相生市に思い入れをもつ人がまちづくりに参画できる。	5
	市の関与の妥当性	寄附金の用途の決定について市が関与することは妥当である。	
有効性	成果の向上	寄附件数、寄附金額ともに増加しており、特に市外からの寄附者が増加していることから、歳入の増加につながっている。また、お礼の品として送付している特産品等を通じて市外への相生市のPRにも期待出来る。	5
	市民サービス	ふるさと応援寄附を財源として実施している事業により、市民サービスが向上している。また、お礼の品を選択制にしたことにより、寄附への関心を高め、利用してもらいやすい制度とした。	
効率性	手段の最適性	相生市の特産品PRの意味もこめて、高額寄附者(3万円以上)に対して牡蠣等や名産菓子等を贈った。	4
	執行体制の効率性	申込みに関してはホームページなどでも受け付けており、利便性の向上を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	1年単位で取り組んでおり、順調といえる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	特産品に関し、かき以外の贈答品の研究開発が必要である。



配点	32.5
総合評価	28.5

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	ワンストップ特例制度の成立に伴い、市の特産品の開発や発送事務の見直しにより寄附額の増加を図る。

(2) 28年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	寄附金控除の制度改正に伴い、ふるさと納税の拡充が見込まれるなか、創設趣旨を念頭におきながら寄附額の増加、寄附者の利便性の拡大を図る。
見直し事項	寄附額で行う事業について、用途内容を分かりやすく寄附者に伝えられるように、情報提供の方法を検討する。
新規事項	
方向	継続 成果 拡大 総コスト 維持